|  |
| --- |
| 様式3　提案書　※別紙を用いる場合は、必ずどの提案項目に対する回答かをわかるようにしてください。 |
| 1. 「地域脱炭素の実現に向けた江戸川区の考え方」（以下、「区の考え方」という。）を参照したうえで、この具体化にあたっての問題点や改善点を指摘し、必要に応じて代替策など提示して、提案者の考え方について簡潔にまとめて記載してください（別紙可）
2. 区の考え方を参照したうえで、特記仕様書の業務内容４（１）事業パートナーの選定支援に係る提案について、下記の事項をそれぞれ簡潔にまとめて記載してください（別紙可）
	1. 地域エネルギー会社の設立に関与したなど、本業務委託事業に関連する主な業務実績について
	2. 事業パートナーの選定におけるプロセスの詳細化及び提案者の関与の方法について
	3. 事業パートナーの選定において重視する項目や発揮すべき能力及び提案者の役割について
3. 区の考え方を参照したうえで、特記仕様書の業務内容４（２）新会社の設立及び事業化支援に係る提案について、下記の事項をそれぞれ簡潔にまとめて記載してください（別紙可）
	1. 新会社の設立に向けたプロセスの明確化及び提案者の関与の方法について
	2. 「既存戸建向け初期費用ゼロモデル」の構築にあたって、江戸川区は、PPA単価30円以下を目指して、既存の電気代よりも安くなることで区民への訴求を考えています。この場合、その具体化に必要な事項及び得られる効果について（あるいはそれ以外の方法で区民に訴求できるモデルの構築について）

※東京都「住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進の増強事業」に係る助成金の活用を前提にしてください。※区が独自に助成金を出す場合、戸建250件で総額4,500万円を上限に想定してください。この際、補助要件や対象など制度設計も明らかにして提案してください。※提案にあたり、前提条件や考え方の根拠（2030年までの想定設置棟数・ｋＷ数・事業スケジュールなど）も併せて示してください。記載例は次ページを参照してください。1. カーボンマイナス都市の実現に向けて、提案者が考える本区の地域課題とその解決策を提示しながら、2030年までにゼロエミッション地区を創出するために必要な地域エネルギー会社の役割やそれ以降の将来像について簡潔にまとめて記載してください。（別紙可）

～記載例～* 本区の建物数から想定される２０３０年度までの設置数

**・前提：江戸川区内の既存戸建住宅数：○○戸****江戸川区内の新規着工戸建住宅数：○○戸／年****事業所数：○○棟****・棟数の試算：戸建は年間○○戸設置（既存・新築）****事業所は年間○○棟設置****合計：2026～2030年度の5年度で戸建○○戸、事業所○○棟を想定*** 設置数から想定される発電出力

**戸建は一戸〇ｋW、事業所は1棟〇ｋWとして、計〇ｋW*** 初期費用ゼロモデルの概要（事業スキーム、契約期間、保証内容などを明記）

**・・・・*** 事業開始に向けた想定スケジュール

**・前提条件：令和6年冬に事業パートナー決定、合弁契約締結。****想定スケジュール：区内工事施工業者探索、資金調達実施、2025年度末事業開始・・・*** 事業開始後の想定スケジュール

**Ｙ年春：設置希望世帯募集****夏：各戸へ見積もり、工事業者選定、補助金申請****秋：順次工事、工事業者への支払い、設備稼働開始、料金徴取開始****冬：補助金受け取り*** 初期費用ゼロモデルで〇KW（/一戸）設置した場合のPPA契約期間内の事業収支の試算

**・事業収益：ＰＰＡ利用料〇円（/一戸）　×　設置戸数　×　契約年数　＝　〇〇円****・経費　　：〇〇円（内訳：・・・・・・）****・事業利益：〇〇円（〇年間）*** 初期費用ゼロモデルで〇KW（/一戸）設置した場合の住民の経済性の試算

※標準的な電気料金と比較した場合の経済性**・現在の電気料金：〇円（/年間）****・ＰＰＡ導入後の電気料金：〇円****→導入前と比較し〇〇円電気料金が低下する。*** 蓄電池設置する場合の試算

**・・・** |